



古民家のお菓子工房ファンド

岡山県倉敷市にある有限会社くまは、江戸時代に建てられた町家や古民家を改装し、町家カフェを営んでいます。今回、ファンドの資金を使い、新たに同地区の古民家である商家「旧原田邸」を改装し、菓子工房に生まれ変わらせ地域を次世代に継ぎます。

応援する



事業を行う



第二種金融商品
取引業者



匿名組合
出資

分配金
投資家特典

投資家特典

1口につき、①または②から1つ選びいただけます。
①ジャムと焼き菓子の詰め合わせセット、甘酒・ピクルス・ジャムの詰め合わせセット (合計 送料・税込 8,000円相当)
②商品券 10,000円分
※有限会社くまが運営する店舗全てでご利用いただけます。

ファンドの詳細は、インターネットでご覧いただけます。「古民家のお菓子工房ファンド」で検索

ミュージックセキュリティーズ株式会社西日本支社

お問合せ **TEL06-6485-7397**
info@oosec.jp

会員登録

ファンド申込

ご入金

本人確認

music securities

岡山産の桃をつかった お菓子づくり

【年間6万人が訪れる人気の町家カフェ】

岡山県倉敷市、美観地区にある「三宅商店」は、江戸時代後期に建てられた町家で、戦前は日用雑貨・荒物屋として営まれていました。有限会社くまは、現代に入り空き家となっていたこの「三宅商店」を改装し、2004年に町家カフェをオープンしました。「三宅商店」の名称はそのままとし、昔ながらの建物や歴史も大切にしながら空間が人気を呼び、今では年間6万人が来店する人気カフェとなっています。特に夏は開店から閉店まで満席の状態が続き、一日平均500人が訪れています。

【地元の食材を使ったオリジナル商品を展開】

有限会社くまでは、「三宅商店」と同じように町家や古民家を再生した飲食店を合計3店運営しています。それぞれの飲食店のパフェやケーキのトッピングで使用しているジャムを商品化し、「三宅商店カフェ工房」ブランドとして各店舗とオンラインストアで販売しています。地元の食材にこだわったオリジナル商品は高い評価を受け、有名食品店はもちろんのこと、有名ファッション雑貨店でも取り扱われています。



【倉敷の商家「旧原田邸」を菓子工房に再生】

今回、本ファンドの資金を使い、「水辺のカフェ 三宅商店 酒津」から徒歩圏内にある明治23年頃に建てられた商家「旧原田邸」の長屋門を菓子工房へと改装します。「旧原田邸」は、大正から昭和にかけて活躍した日本を代表するテニス選手である原田武一（世界ランク7位）の生家です。有限会社くまは、取り壊される運命であった建物と土地を取得し、地元の食材の摘果桃を使い、ピクルスやジャム、ゼリー等を製造・販売するお菓子工房へと生まれ変わらせます。



古民家のお菓子工房ファンド 概要

出資金募集最大総額	10,500,000円 (350口) 申し込み上限口数:33口
1口金額	31,710円/口 (内訳:出資金30,000円 取扱手数料1,710円)
資金使途	ジャム工房内装費 10,000,000円 予備費 500,000円
ファンド対象事業	今回対象となる事業は旧原田邸を改装した工房にて製造したすべての製品(ジャム、ピクルス等)を販売する事業及び工房にて行う小売販売・飲食提供サービス事業です。
会計期間	本匿名組合事業開始日の翌1日から3年間
事業計画	売上金額48,056,400円(3年間) 損益分岐売上金額24,000,000円 償還率112.6%(源泉徴収後償還率110.0%)

※事業計画達成時の売上金額と償還率です。営業者は、本匿名組合事業の売上金額として、本事業計画の売上金額を保証するものではなく、匿名組合員に対し、分配金額を保証するものではありません。

有限会社くまは、岡山県の地域資源や独創的な技術・アイデアなどを活かした中小企業者の商品開発、新事業展開、事業拡大など、魅力的なビジネスプランを発掘・応援するために、岡山県・岡山県中小企業団体中央会が実施する事業「岡山ふるさと投資応援事業」に選定されました。



元本毀損などのリスク、契約期間中に転売できないなどの留意点、取引手数料などがありますので、匿名組合説明書・契約書を熟知の上、お申込みください。本ファンドの取扱・運営は、ミュージックセキュリティーズ株式会社(MS社、第二種金融商品取引業者関東財務局長(金商)第1791号)に委託しているため、申込み手続きはMS社にて行われます。